

こんにちは。さいとう石材です。

石だより

4.5
月号

今

年のNHK大河ドラマは、紫式部が主人公です。日本最古の長編小説を書き残した紫式部の人となり、

また「源氏物語」誕生の過程がどう描かれるのか、楽しみにしている方が多いのではないのでしょうか。

この「源氏物語」にゆかりのあるお寺が、琵琶湖の南端近くに建つ石山寺です。建立

は奈良時代の747年(天平19年)。西国三十三カ所観音霊場十三番札所であり、国宝の本堂をはじめとした歴史的建造物のほか、近江八景の一つ「石山秋月」、春は桜、秋は紅葉と四季折々の風景も見所となっています。

中でも注目すべきは、境内に現れる巨大な奇石群が作り出す独特の風景です。この

珪灰石けいかいせきは全国で見られます

が、お寺の名の由来でもあり、古来大切にされてきたことから、「石山寺珪灰石」として国の天然記念物に指定されています。

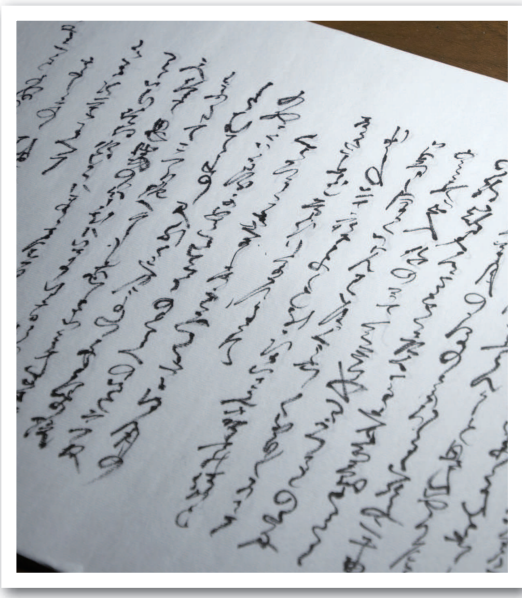
平安時代には「石山詣」と称し、多くの貴族が訪れました。紫式部も参詣し、7日間籠った末に執筆したのが、「源氏物語」明石の巻と伝えられています。本堂

奇石群の中で生まれた日本最古の物語

には「源氏の間」が残されており、紫式部が使ったとされる硯も置かれています。遙か遠い時代の紫式部も私たちと同じ景色を見ていたと思うと、不思議な気持ちになります。

現在、石山寺はパワースポットとしても人気を集めています。1000年もの間、読み継がれる物語がここで生まれたのですから、その効果はお墨付きといえそうです。

ゴールドenウィークは、各地の巨岩、巨石のパワースポットめぐりをしてみてはいかがでしょうか。



裏面「写真に一言」をぜひお読みください

株式会社 齋藤石材

本社 TEL0229-67-3036 加美郡加美町字中原 25-14
 古川店 TEL0229-28-3744 大崎市古川休塚目見田 1-3
 メール: is1@isi5.com

ホームページへは、「齋藤石材 宮城」で検索または、右上QRコードでアクセス↑

お墓に刻まれた言葉③

「地球には もう彼はゐない けれども生きてゐる」

植村直己 (1941～1984)

日本人の代表的な冒険家として、まず名前が挙がる植村直己。1970年、日本人で初めてエベレストに登頂。同時に世界初の五大陸最高峰登頂を達成しました。1984年、マッキンリー単独登頂に成功した後に連絡が途絶え、消息不明となりました。43歳という若さでした。

冒頭の言葉は、詩人の草野心平による追悼詩の一節です。この詩が刻まれた墓碑が建つのは、植村が住んでいた東京都板橋区にある乗蓮寺。東京大仏のお寺としても知られています。

墓地は本堂に向かって左側にありました。細い路地の奥に、表面が鏡のように磨かれた墓碑が建っていました。追悼詩はそこに手書き文字で刻まれています。冒頭の言葉の後には、「修身に化けて 植村直己は 私たちの中に 生きつづける」と続きます。「生きている」「生き続ける」という繰り返しに、その精神を受け継いでいくという意志を感じました。

同じ板橋区内には「植村冒険館」があり、冒険の足跡を紹介しています。消息不明となり今年で40年が経ちますが、これからも私たちに挑戦することの大切さを伝え続けてくれることでしょう。



何かのツアーなのか、数人のグループがたびたび墓碑を訪れていました。



東京大仏の高さは13m。境内には天保飢饉の供養塔など、石造物が多くあります。



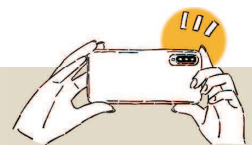
案内板が出ているので、墓碑の場所はすぐに分かります。

年中行事と食べもの

「八十八夜」～新茶のパワーをいただく～

「夏も近づく八十八夜～」。唱歌「茶摘」の歌い出しから、八十八夜は新茶の季節というイメージがあります。八十八夜は日本の気候風土にもとづいた「雑節」という暦の中の一つ。立春（2024年は2月4日）から数えて88日目にあたる日で、今年は5月1日です。「八十八夜の別れ霜」と言われ、季節は初夏に移り変わり、霜の心配もなくなります。このため茶摘みに限らず、種まきや田植えといった農作業を始める目安とされてきたのです。

とはいえ、この時期に摘まれた新芽でつくる新茶はちょっと特別。飲めば一年間無病息災でいられるといわれます。お茶は年に3～5回収穫できますが、新芽には冬の寒さの中で蓄えられてきたエネルギーが満ちています。八十八で「米」の字となることや、八が末広がりである縁起のよさもあります。香り高い新茶は、気持ちもリフレッシュさせてくれそうです。



スタッフの「写真に一言」

年明けから冬らしくない気温の変化や雪の少なさに戸惑いながら徐々に春を感じるという季節感がないまま最近を過ごしている今日この頃です。

最近癒しの装飾品・・・日差し窓にサンキャッチャー。

窓際に設置し部屋の中に陽光を複雑に屈折させ小さな虹色の光(反射)を楽しむ風水の縁起物としても人気です。

もう一つ・・・先日、現場作業のお寺さんにて元気をもらえた原色の梅花。

加美町本社 : 4月第1・3・4土曜・日・祝日

定休日

5月第1・3土曜・日・祝日

大崎市古川店: 毎週木曜日・その他不定休あり

(来店の際はお電話いただけると幸いです。)

4月 8日(月)・・・花まつり (灌仏会)

4月 19日(金)・・・穀雨

4月 29日(月)・・・昭和の日

5月 3日(金)・・・憲法記念日

5月 4日(土)・・・みどりの日

5月 5日(日)・・・こどもの日

5月 6日(月)・・・振替休日

5月 12日(日)・・・母の日

今月の予定

石だより



さいとう石材 宮城県加美郡加美町字中原 25-14 TEL:0229-67-3036